

健康づくり

壮年期からの健康対策として生活習慣病予防事業の充実を図ります。各病態別に学習を深める健康サポート教室を開催し、住民の健康回復や健康増進に取り組みます。また、元気腎教室を開催して、慢性腎臓病を予防し、人工透析の回避に努め、本人や家族の身体的、精神的負担の軽減とともに、医療費削減を図ります。

子育て支援

図書ボランティアの協力のもとに平成23年度から実施しているフォロワーアップ・ブックスタートについては、さらに充実させます。幼いころから本に親しむ機会を作ることにより、子どもたちの情操教育と合わせて子育て支援の面からも効果が期待されます。

障がい者の福祉施策

乳幼児・児童等の発達障がい児対策として、関係機関・医療機関と連携を強化するとともに、平成24年度からは新たに月1回、小児神経発達専門医を招いて、発達障がい児に対する相談やアドバイスを受けやすい環境を作ります。

雇用の創出

近年の景気低迷等により離職を余儀なくされた方への対策として、平成21年度に緊急雇用創出事業が創設され、当初は平成23年度までの計画でしたが、東日本大震災の被災地の本格的な雇用復興を図るため、平成24年度も継続されることになりました。

この事業は、離職者の短期雇用・就業機会の創出・提供するもので、臨時特例交付金が都道府県に交付され、県に基金が設けられています。本町では、この基金を活用し、作業員を前期と後期に分けて採用し、町有施設等の環境美化を推進していきます。

農業政策

有害鳥獣による農作物の被害対策については、町内の中山間地にイノシシとシカが出没し、農作物の被害が拡大しています。町内の有害鳥獣駆除の協力者として「猟友会」がありますが、高齢化や銃刀法の規制強化等により、メンバーが減少しています。

このため、平成23年度から報奨金制度を導入するとともに、わな猟の免許取得補助を行ってきました。平

成23年度捕獲実績は、イノシシ38頭、シカ10頭の計48頭です。また、1名の方がわな猟の免許を取得されています。本年度も引き続き、報奨金制度の導入及びわな猟免許取得の補助を実施します。

とれたて村

農産物直売所「けいせん・とれたて村」では、農産物と加工品の販売を行っていますが、お陰を持ちまして、買い物にいられた皆さんから、好評をいただいています。

また、総売上高は1月末現在では、約260万円で、決して満足ということではありませんが、出荷者にも喜ばれています。

今後も、嘉穂総合高校との連携を強化し、特産品の生産を目指し、生産意欲の向上及び販売方法の改善等に助力していきます。



水道事業

平成10年度から取り組んでいる石綿セメント管の更新事業は、平成23年度ですべて終了する予定です。

また、浄水場の施設・設備の維持管理については、各施設設備の現状について技術的診断評価を行い、水道事業システム全体としての更新計画を策定し、取り組めます。

